

# 国際学会 Report

## The 2nd Korea-Japan-Taiwan Joint Congress on Neonatology

2018年5月24日 ソウル

石原 千詠

鹿児島市立病院総合周産期母子医療センター新生児内科科長

韓国ソウル市, Grand Walkerhill SeoulにあるVista Hallにおいて「The 2nd Korea-Japan-Taiwan Joint Congress on Neonatology」がKorean Society of NeonatologyのKi-Soo Kim教授(University of Ulsan College of Medicine)の下, 「The 25th Annual Spring Meeting of Korean Society of Neonatology」に先駆けて前日の2018年5月24日に開催された(写真1, 2)。

朝9時半からのKi-Soo Kim会長の開会挨拶を皮切りに, 同会長による基調講演「Neonatology Korea」では韓国の新生児医療の歴史について, また現在のKorean Neonatal Networkの取り組みを紹介され, 日本のNeonatal Research Networkと体重別死亡率の比較なども示

された。

また, Sung-Jim Kim先生によるランチョンセミナー「prevention of meningococcal disease clinical updates of menveo」や昼食後のポスター発表を挟んで, 午前午後でそれぞれ6題ずつの英語口演が行われた。午前のセッションでは座長として谷口英俊先生(大阪大学)とEe-Kyung Kim先生(Seoul National University)が担当され, 日本からは藤岡一路先生(神戸大学), 小寺孝幸先生(倉敷中央病院)が, 午後のセッションでは岩谷壮太先生(神戸大学), 鈴木由芽先生(自治医科大学)が発表された。

日本からは日本新生児成育医学会の楠田聡理事長をはじめ, 20名を超える新生児科医が参加し, 日本新生児成育学会からの推薦演者5名を含めた12名の先生方が(口演4題, ポスター発表8題)発表され, 活発な討議がなされていた(写真3)。

午後の後半は, I-Shou University(台湾)のSan-Nan Yang先生, King's College(英国)のPierre Gressens先生とともに, 海外招請講演として日本から中西秀彦先生

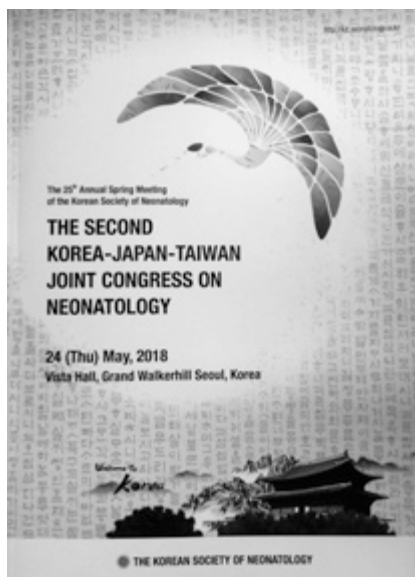


写真1 The 2nd Korea-Japan-Taiwan Joint Congress on Neonatologyの抄録集



写真2 集合写真

SAMPLE